

4月保育の広場

「子どもの主体性について」

保護者の皆様には日頃より、保育へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。
いよいよ新年度が始まり、子どもたちも職員も新たな気持ちでスタートを切りました。
これから成長していく中で様々な経験をしていく子どもたち。その中で迷いや不安にぶつかった際に「これがダメならこうしてみよう！」と自ら考え行動できるようになってほしいという願いから那珂こども園では主体性を育てていきたいと考えています。

主体性ってなあに？

→子どもが自分で考え、選び、責任を持って行動しようとする力

★やってみたいことに自分から取り組む



★「どうしたらいいかな？」と考える

★失敗してももう一度挑戦しようとする

といった姿が主体性のあらわれです。



どうして主体性を育みたいの？

→社会で生きていく上で必要な能力だから(非認知能力)

自分の責任のもと、やりたいこと・やるべきことを考えて自らの方法で挑戦していくことが大切になります。大人がよかれと思って先回りして環境を整えすぎたり、失敗を叱ったりすると子どもは「言われた通りにした方がいい」と考え判断が人任せになり、主体性の芽がつまれてしまいます。



主体性を育むための園での取り組み

那珂こども園では次のような関わりを心掛けています。



子どもの「やってみたい」を尊重する

子どもの興味や関心に寄り添い、活動を広げていきます。一方で「やりたい」という気持ちをそのまま叶えるのではなく、どうしたらできるかな？と一緒に考えながら、子ども自身の力で実現に近づいていく経験を大切にしています。

失敗も大切な経験として受け止める

うまくいかない経験も、次につながる学びとして支えています。失敗を否定するのではなく、「どうしたらよかったかな？」と振り返ることで、次への挑戦につながるよう関わっています。

見守ることを大切にする

すぐに答えを教えるのではなく、考える時間を大切にしています。大人が先回りせず、子どもが悩んだり試したりする過程を見守ることで、自分で考える力につなげていきます。

自分で選ぶ機会をつくる

遊びや活動の中で選択できる場面を大切にしていきます。遊びや製作、着替えや準備などの場面で、「どれにする？」といった問いかけをしながら、自分で考えて選ぶ経験を積み重ねていけるようにしています。

関わり方を丁寧に伝える

自分の思いだけでなく、相手の気持ちやルールも少しずつ学べるようにしています。友達との関わりの中で、どう伝えたらよいか、どう関わればよいかを一緒に考えながら、人との関係を築く力を育てています。

保護者の皆様にも、この1年でお子さんがどのように成長し、変わっていくのかを一緒に見守っていただけますと幸いです。また、今回ご紹介した内容はご家庭でも取り入れていただきやすいものとなっていますので、日々の関わりの中でできることからぜひ参考にいただければと思います。

